

# 斐太北小 ESDだより

Education for Sustainable Development(持続可能な社会の創り手を育む教育)

## 「第2回みらいトーク」を実施しました

8月26日(火)に、当校図書室にて、CS(学校運営協議会)委員の皆さんにご参加いただき、第2回みらいトークを行いました。

低・中・高学年の3グループに分かれ、各学年の1学期の「みらい学習」を振り返るとともに、2学期の活動の見通しを立てました。

例えば、1年生のヤギ飼育やリースづくり、2年生の秋野菜作りや収穫後の学習活動が大きな話題になりました。また、教職員の想いを受け、「5年生は稲作体験が大変だと実感ができているか」を課題として共有し、稲刈りをどう進めていくか児童の実態を踏まえて一緒により良い活動を吟味し、助言していただきました。ユネスコスクールとなっても変わらず、「みらい学習」を中心にESDに取り組むにあたり、多大なるご支援をいただいていることが有難いです。

「みらいトーク」は、子どもたち一人一人が自らの学びを社会や未来につなげて考えるための大切な契機であり、教師と地域、学校と社会が互いに学び合い、高め合う営みでもあります。多様な視点や専門性が交わることで、授業の幅が広がり、子どもたちが未来を主体的に描いていく力を育むことにつながると確信しています。

学校が「開かれた学びの場」として成長していくために、この「みらいトーク」がもつ価値は極めて大きく、今後も継続的に充実させていきたいと考えています。



## 他校の先生方に参観していただきました

実は、今回のみらい学習の様子を、妙高市教育研究会の生活・総合部会の皆さん(妙高市内の園・小・中学校の教職員)が参観に来られていました。一緒にトークに参加される部員さんもいらっしゃいました。

「みらいトーク」の後、3人のCSさんに残っていただき、11年目となる斐太北小のCS組織と「みらい学習」とのかかわりや「みらいトーク」という活動のメリットについてひも解いて研修しました。斐太北小学校の教職員から見たメリット、CSさんの想いを紹介し、2グループに分かれてさらに深く熱く語り合いました。

研修された方々は、地域の方と一緒に、生活科、総合的な学習の時間を創ってみたいという想いをもったり、斐太北小学校がうらやましい、自分の学校でできることはないかと課題意識を高めたりしていかれました。

## 教員から見たメリット1

- 1年生の昔遊び ゲストティーチャーの紹介
- 2年生の野菜作り 向いている野菜の種類、本数、日程調整  
どこにどの野菜を植えたらいいか
- 3年生のまち探検 販売活動の場所紹介、手続き  
地域にある宝やお店  
↑  
探検の受け入れ先探し
- 4年生の川探検 子どもたちが遊べる場所  
水の使われ方、発電所  
活動紹介(鮎の放流)
- 5年生の米作り 作業の見通し  
地域の抱える課題
- 6年生の地域の歴史 講師の紹介・案内

経験の浅い教員  
地域を知らない教員にとって  
活動の構想は  
大きな困難

活動を構想するにあたっての  
大切・有益な情報を提供

**地域の方ならではの知識と情報**

2年生や5年生が畑や田んぼ作業をしやすいように畔草をあらかじめ刈ってくださったり、4年生の川の学習の前に川に降りていく道や活動場所を下見して、下草刈りをしてくださったりと、陰に日向に労をいとわずお力を貸して下さるCSさんたち。

当たり前ではない活動をして下さっています。今年は、HPでそれらの様子を知っていただきたいと思い、写真を入れて紹介しています。

教員・CSともに  
Win-Winな関係

## 教員から見たメリット2

- 2年生の野菜作り まず子どもにやらせて  
間引きなどの労力  
こっそり作業
- 4年生の川探検 子どもたちが  
安全に遊べる場所紹介  
下草刈り等の事前準備
- 全学年を通して 校外学習への同行  
講師紹介

子どもたちに  
安心して活動させたい

**子どもたちの  
安全確保  
安心確保**

**教員も安心して  
活動を進められる**

## 教員から見たメリット3

### 全体を通して

- 担任の意図を汲んだ提案をして下さる
- ねらいに応じた人選や活動を提案して下さる
- これまでの経緯を踏まえた提案をして下さる
- 保育園時代からの子どもたちとのかかわりをふまえて提案して下さる
- 裏方に徹して下さる
- 急な予定変更等に、気持ちよく対応して下さる

**学年担当が変わっても  
質の高い学習活動が継続!!**

持続可能な  
斐太北のみらい学習

## 斐太北のCS

- メンバーは少しずつ入れ替わりながら  
今年度が11年目
- みらいトークに参加する事でCSさんは
- 先生方の思いを聞くことで、思いを共有できる
  - 直接聞くことで、実働するときの行動に生かせる
  - 直接聞くことで、知識・情報・技術を伝えられる
  - 子どもたちと一緒に活動することで
    - ・子どもたちのために再勉強できる
    - ・子どもたちの笑顔や頑張りが直接観れる

↑  
現実生活から離れ、笑顔に！心が晴れる！！

**活動が続けられる!!**